

九州国際大学 中期計画概要図

平成23年度～平成27年度（第二期）

持続性のある確かな競争力の確立

中期目標：「地域に根ざした、北九州地域のトップ私大」としての魅力回復を目指した好循環の創出

中期計画の重点項目

- ①育てる教育システムの構築
- ②地域社会への貢献
- ③就職率の向上

5. 大学の資源の活用と社会貢献

- ①地域社会との連携
- ②高大連携の積極的推進（付属高校、学外）
- ③外部人材の登用による活性化（特任・客員教員）
- ④地域社会をフィールドとした共同研究の奨励
- ⑤研究成果の還元（情報公開・発信）
- ⑥施設設備の地域開放促進（図書館、教室、ネットワークなど）

4. 学生主体の大学生生活支援で学生満足度を高める

- ①学生満足度を高めるキャンパス・アメニティーの向上
- ②「退学者4%以下」を目指す学生支援の充実（担任・副担任サポート）
- ③生活実態調査、満足度調査の実施
- ④サークル活動、体験活動、文化活動、ボランティア活動の支援
- ⑤適正で規律のある奨学金制度の確立
- ⑥学生間交流の支援（ゼミ連合大会、大学間交流）

6. 就職・進路支援の強化

- ①「ニート0、就職率100%」をめざす
- ②インターンシップの着実な実施（企業・行政との連携・ニーズ調査）
- ③学生に対するキャリア教育・資格取得の支援（学内連携）
- ④積極的な企業開拓（行政の産業誘致など地方自治体の情報収集）
- ⑤既卒者とのネットワーク（同窓会との連携含む）

3. 研究力の強化と外部資金の獲得

- ①研究費の一律配分の見直しと地域共同研究の推奨
- ②外部の競争的研究資金獲得の促進と支援
- ③研究成果還元を奨励する制度の確立（間接経費の用途）
- ④研究活動の成果PR（学会発表の奨励）

2. 教育力の強化と授業の改善

- ①「一人ひとりを育てる教育」の実践
- ②人材養成を明確にしたカリキュラムの整備（スリム化と初年次および少人数教育、フィールドワーク重視の学習スタイルの拡充）
- ③初年次・教養教育の見直し
- ④教育の「質」の保証、FD活動による教育方法・技術の向上
- ⑤「教職協働」による教育・学生生活支援の改善・改革

1. 意欲ある学生の確保

- ①「一人ひとりを育てる教育」を通じた意欲ある学生の確保
- ②地元、特に下関・北九州エリアを中心とする受験生への活動
- ③生徒等受験生への直接的なアピール方法の実践
- ④教育・研究成果の広報コンテンツ化とその共有

研究活動や地域貢献活動にもとづく  
「教育の質の向上」  
出口の成果が入り口の水準向上に  
繋がる好循環の創出

7. 大学運営・経営の効率化

- ① PDCA（計画、実行、点検評価、改善）サイクルの実行 ⇒ 自己点検評価のルーチン化
- ② 人事考課制度の実質的な活用
- ③ 教育組織の見直し（昼夜開講制）
- ④ SD活動の推進等
- ⑤ 運営組織（事務組織、各種委員会など）のスリム化・ピラミッド化
- ⑥ 計画的な人事政策の確立
- ⑦ データによる経営・戦略による改革の実践